

県立工業技術センター研究課題評価シート【平成 26 年度】

[採択報告（外部競争資金）]

No.	研究課題名	研究の概要	提案機関へのアドバイス
	担当部署		
	研究期間		
5	<p>ランタンシリケートを用いた中温作動型 SOFC の実用化に向けた研究開発</p> <p>技術企画部、材料・分析技術部</p> <p>平成 25～28 年度 (3 年間)</p>	<p>アパタイト型ランタンシリケート電解質を用いた中温作動型 SOFC の実用化に向け、H24 年度 A-STEP シーズン現在化タイプにおける発電出力向上の研究結果を受けて、ハイリスク挑戦タイプでは、①実用化レベルまでのさらなる出力向上、②耐久性の評価、③セルサイズの拡大を行い、SOFC メーカーとの製品化に関する共同開発に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐久性やセルサイズ等の目標を達成してほしい。用途が広がることを期待している。</li> <li>・ペースト技術による SOFC 作製という新規性の高い研究として高く評価する。産官学の共同研究であり、相互の継続した強い連携研究を期待する。</li> <li>・水素エネルギー社会の実現に向けて強く期待する。</li> <li>・10 年間着実に技術開発を行ってきた結果が、次への研究開発に繋がっている。</li> <li>・早期の実用化を期待している。</li> </ul>
6	<p>超薄型柔軟膜を用いた貼付け型ヒューマンインタフェースの研究開発</p> <p>生産技術部</p> <p>平成 26～27 年度 (2 年間)</p>	<p>伸長により電気特性が変化する超薄型の柔軟膜を用いた貼付け型ヒューマンインタフェースを確立するため、(1) 高感度のインタフェースとするための柔軟膜上の電極パターンの多様化とその応答評価、(2) 多点の計測を可能とするマトリックスタイプの計測プラットフォームの開発、(3) 衣類や機器の操作デバイスへ組み込みを通じてヒューマンインタフェースとしての適用性の評価を実施することにより、柔軟膜のヒューマンインタフェースとしての基盤を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストダウンをして是非実用化に向けた検討をしてもらいたい。</li> <li>・多用途への開発が期待できる。</li> <li>・介護現場における褥瘡などの様々な予防に役立つと思われる。</li> <li>・新しい発想によるヒューマンインタフェースとして、高く評価できる。神戸大学、(独) 産業技術総合研究所との相互の特徴を生かした共同研究の発展を期待する。</li> <li>・様々な応用が考えられる技術である。</li> </ul>